

[ 横浜市民ギャラリー ]  
 平成 26 年度業務報告及び収支決算  
 [ 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業 ○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標 ■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1(旧「職員厚生施設いせやま会館」) (平成 26 年 10 月～)
構造・規模	鉄筋コンクリート4階建(地下1階～地上4階) 竣工：昭和62年(築26年)
敷地・延床面積	専有延床面積 3, 4 2 8 m <sup>2</sup>
開館日	昭和 3 9 年 4 月

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 1 0 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

**【指定管理期間中の使命】**

1964年開館からの半世紀におよぶレガシーを受け継ぎ、2014(平成26)年10月の移転・再オープンに向け、新しいニーズに応え地域に根差した新ギャラリー運営の基本方針を策定し、開館までのロードマップを明確に市民に告知・案内しました。

開館後は、市民に開かれ親しまれる施設を目指し運営に努めました。

**【業務取組の基本的な考え方】**

開館前は、準備期間として着実に開館業務を進めるとともに、新ギャラリーについて市民にわかり

やすく丁寧に案内し利用につながるように努めました。

開館後は、指定管理者単独での施設運営となるため、旧ギャラリーからの運営で培った貸館運営・自主事業の実施・コレクション管理に加え、施設運営を万全の準備・体制で行いました。

## 業務の基準の使命の要約

### (2) 26年度の業務の方針及び達成目標の総括

#### 【全体業務について】

開館前後で異なる環境・業務内容・運営となるため柔軟な対応を心掛けました。

新ギャラリーでは「立地」「貸館方法の変更」「附帯設備の有料化」など旧ギャラリーの運営と大きく変更し、運営側・利用者ともに開館当初の混乱はありましたが、次第に落ち着き、施設を開き・新たな利用を切り拓いていくという希望と気概をもって市民サービス・美術振興に取り組みました。

#### ① 事業について

- ・開館記念事業：50周年を迎えた横浜市民ギャラリーの歴史を振り返り、その軌跡を収蔵作品・関連資料、関係者インタビュー映像および市民参加の展示で構成し、施設のお披露目も兼ねてバックヤードツアーも期間中実施し、全館を使って展覧会を開催しました
- ・講座事業：展示室の‘みる’に対し、アトリエでの‘つくる’‘学ぶ’という美術の普及振興を目的とした講座事業を、子ども向け・大人向けにわけて開催しました
- ・コレクション管理：全所蔵品のクリーニングおよび燻蒸を終え、作品状態を最新データに更新し、引き続き仮収蔵庫で管理していく体制を整えました
- ・広報事業：開館にあわせ施設広報誌「アートヨコハマ」を再刊し、市全域の美術情報を提供する「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」「横浜画廊散歩」を定期発行しました

#### ② 運営について

- ・開館前まではわかりやすく・使いたくなる施設案内を心掛け、開館後はアクセス改善として送迎車サービスの実施、明るく開放的で飲食可能なエントランスロビー、玄関アプローチに植栽を置くなど入館しやすい雰囲気づくりに努め、他方で利用団体には詳細な打合せを実施し、施設利用者が安心して利用しやすいよう配慮しました
- ・建物内外に案内・看板を新設・増設し、アクセス改善・施設アピールに結びました

#### ③ 管理について

開館前は入念な調査と準備を重ねました。開館後は設備職員（設備・清掃・警備および総合案内）とともに安全に配慮し着実な施設管理を行いました

#### ④ その他について

- ・旧ギャラリーに慣れ親しんだ利用団体・来館者に安心して利用いただくとともに、周辺の文化施設や町内会との情報共有や事前調整を行い、とりわけ車での来場については周辺が民家であることに配慮し、入念な調整と柔軟な現場対応を心掛けました

#### 4 業務の取組と達成指標

##### (1) 事業について

###### ア 開館記念展および記念事業について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>開館記念展 「内覧会および収蔵作品展」および記念事業 施設および収蔵作品を広く紹介する目的で、〈歴史〉〈横浜〉〈市民参加〉をキーワードに収蔵作品を中心に開館50周年および新ギャラリー開館を記念する展覧会と関連事業を実施します</p> <p>●これまで開催してきた事業の記録や関連資料を紹介します</p> <p>●コレクションを中心に50年の歴史を捉えます</p> <p>●市民参加の企画展示</p> <p>●今年度横浜市最大の文化事業「東アジア文化都市2014横浜」「横浜トリエンナーレ2014」の趣旨・メッセージを読み解き開館記念展の記念事業に盛り込み、開館の祝祭性との相乗効果を上げる工夫を仕掛けます</p> <p>●その他関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内覧会の実施</li> <li>・今後の市民利用・来館につながる事業の</li> </ul>	<p>開館記念展の開催</p> <p>□入場予定者数：5,000人、関連事業参加500人</p> <p>□開催時期(予定)：10月10日～10月29日(20日間)</p> <p>□アンケート：満足度4.0以上</p> <p>■所蔵作品点から企画主旨に添って約150点を紹介します</p> <p>漫画、油彩画、写真、版画等</p> <p>■所蔵品とともに広報資料・報道資料・記録写真等を紹介</p> <p>■過去に市民ギャラリーに関わった方々への取材と紹介</p> <p>50年の歴史の中で関わった方々(作家、学芸員、評論家、利用団体、学校関係者、職員等)への取材(インタビューや動画収録)を試み、映像や記念トークを通して市民に紹介し、こうした面からも50年の歴史を俯瞰します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像紹介：映像編集し展示室でプロジェクト上映</li> <li>・記念トーク：展示室で記念トーク(2～3回)、100人</li> </ul> <p>■市民が撮ったヨコハマの写真を募集し、市民展示を設けます</p> <p>□市民参加の作品：30点以上</p> <p>□ボランティア参加：のべ50人以上</p> <p>市民展示のキャプション制作や展示ご案内係として参加</p> <p>■「東アジア文化都市2014横浜」に関連し中国や韓国に関連した作家を取り上げる記念トークや、「横浜トリエ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□入場者数：4,580名(展覧会4,004名、関連事業192名、参加ボランティア16名、バクヤードツアー参加者368名)</p> <p>□開催時期：10月10日～29日(20日間)</p> <p>□アンケート：満足度4.3</p> <p>■展示した所蔵品</p> <p>漫画、油彩画、写真、版画全138点</p> <p>■所蔵品とともに展覧会や事業の広報資料・報道資料・記録写真・図録を展示</p> <p>■50年の歴史の中でかかわった5名の方に取材しインタビュー映像を展覧会場で紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元市民ギャラリー職員(1972-80年)、企画展や25年史の編纂にかかわった美術評論家、所蔵作家2名、長く市民ギャラリーの市民ボランティアを経験した方、以上5名</li> <li>・過去の展覧会映像を編集し上映</li> <li>・記念トーク4回、123名</li> <li>・学芸員によるトーク2回、14名</li> </ul> <p>■「ワタシノヨコハマ」と題して市民作品を募集</p> <p>□69名、178点の全作品を展示</p> <p>□市民ボランティアを募集しませんでした</p> <p>■「東アジア文化都市2014横浜」と「横浜トリエンナーレ2014」に関連したトークをそれぞれ1回</p>

<p>実施</p>	<p>「シナリーレ2014」に即した現代性をもった内容のパフォーマンス・イベントをアトリエおよびエントランスで実施します</p> <p><input type="checkbox"/> 記念トーク：2回程度、参加者100人</p> <p>■その他関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックヤードツアーを実施し、利用者・来館者の施設理解を深めます</li> <li>・開館記念後に実施する造形講座への紹介体験も兼ねたワークショップや全館を使った参加型イベントを実施します</li> </ul>	<p>ずつ実施</p> <p><input type="checkbox"/> トーク2回、38名</p> <p>■その他関連事業</p> <p><input type="checkbox"/> バックヤードツアー 利用登録団体を対象に実施 21回、368名</p> <p><input type="checkbox"/> 親子向けワークショップ 「アート・ハット」 5回、55名</p>
-----------	--	--

イ 講座事業について

<p>[取組内容]</p> <p>&lt;子ども向け事業&gt;</p> <p>①開館記念事業期間 子どもが気軽に美術に触れるきっかけとなる参加型のワークショップ事業を組み込みます</p> <p>②開館後の通常運営期間 小学生までを対象とし、子どもの創造力を育み集中力や協調性を養う目的で2002年度から実施しているワークショップの開催</p> <p>&lt;大人向け事業&gt;</p> <p>①体験型造形講座 次年度(H27)から本格的に実施するアトリエ事業へ参加を促す体験型事業の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>&lt;子ども向け事業&gt;</p> <p>①子ども・親子で楽しめる参加型事業</p> <p><input type="checkbox"/> 時期：開館記念展にあわせて10/10-29</p> <p><input type="checkbox"/> イベント・ワークショップ数：期間中にフリー参加の事業を2,3種類・毎日いずれかを実施</p> <p><input type="checkbox"/> 満足度4.0以上、参加者300人</p> <p>②「ハマキッズ・アートクラブ」(全3回、有料)</p> <p><input type="checkbox"/> 満足度4.0以上、参加者70人以上(3回で)</p> <p><input type="checkbox"/> 講座料収入 @1,500×70名=105,000円</p> <p>&lt;大人向け事業&gt;</p> <p>①体験型造形講座 モデルを置いての人体クロッキーなどを少人数性で基礎を丁寧に学びます。1回完結ですが全回通しでの参加も可能</p> <p><input type="checkbox"/> 実施期間：11～3月に平日午後月</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>①親子向けワークショップ「アート・ハット」</p> <p><input type="checkbox"/> 開館記念展開催中に5回 10/11, 13, 17, 24, 25 参加者55名 自由参加のためアンケートは実施せず。また、バックヤードツアーの実施回数を多くしたため、毎日の実施はできませんでした</p> <p>②「ハマキッズ・アートクラブ」 当ギャラリー館長が講師となり 毎回異なる内容で実施し、子ども達につくる楽しさを指導</p> <p><input type="checkbox"/> 3回(1/17, 2/21, 3/21)、58名</p> <p><input type="checkbox"/> 満足度4.8</p> <p><input type="checkbox"/> 講座料収入57,000円</p> <p>① 大人のためのアトリエ講座 オープンスタジオ「人体を描く」 参加者がそれぞれのペースで描くことを楽しむ講座。初日と最終日に講師による指導・講評を行いました</p>
---	---	--

<p>②教養講座 アートシーンの動きや市民ニーズ等に配慮した16歳以上対象の大人のための教養講座の開催</p>	<p>1,2回 □実施回数：全6回、1回あたりの定員20名 □満足度4.0以上、参加者80人(全120名、受講率67%) □講座料収入 @1,500×80名=120,000円 ②教養講座「ハマゼミ」 幅広いジャンルから外部講師を招聘しての教養講座。次年度(H27)からの本格実施の試行と企画調査を併せて行います □講座数：12～3月の間に2回実施 □満足度4.0以上、参加者70人以上(2回で) □講座料収入 @500×70名=35,000円</p>	<p>□12～2月の毎月2回木曜午後に実施、全6回、1回20名 □受講者数20名、のべ112名 受講率93% □満足度4.5 □講座料収入171,000円 ② 教養講座「ハマゼミ」 「フォト・ヨコハマ2015」の開催にあわせ写真家と、所蔵作家で現在活躍中の日本画家を招聘し、それぞれのテーマでお話いただきました □講座数：2回(2/11,3/15) 2/11:27(有料23)名、満足度4.3 3/15:71(有料61)名、満足度4.1 □講座料収入 2回で@500×84名=42,000円</p>
---	---	---

ウ コレクション管理

<p>[取組内容] 全所蔵作品のクリーニング作業の完遂と新ギャラリー収蔵庫への移設</p>	<p>[達成目標] ■2年におよぶ状態調査及びクリーニングを終え、館の収蔵品として収めます 前年度(H25)実施308点及びH23・24年度に修復を行い横浜美術館蔵置中の3点に加え、今年度976点(預かり作品を含む)のクリーニング作業・燻蒸を終え、1,287点を平成27年3月末迄に仮収蔵庫から新ギャラリー収蔵庫へ移設します。なお、他に4点を他施設へ貸出中で、全所蔵品数は1,291点</p>	<p>[実施内容と達成状況] ■平成25,26年度と2年間で全作品の状態調査とクリーニング(一部の作品は燻蒸)を終えました。横浜美術館蔵置だった3点も含め全所蔵品を平成27年度も引き続き仮収蔵庫に保管することが決定しました。クリーニング作業に伴い収蔵品リストや作品カードのデータ更新を行い、仮収蔵庫での点検・管理を滞りなく行いました 市民ギャラリー収蔵庫は、からし期間を延長し、温湿度管理・定期的な清掃を行い環境維持に努めました</p>
---	--	--

エ 広報事業

<p>[取組内容] 目的にそった情報誌の定期発行とホームページとの連動による施設ファン及び美</p>	<p>[達成目標] 情報誌とホームページを定期的に刊行及び更新し、市民に届く広報を目指します</p>	<p>[実施内容と達成状況] 情報誌3誌を発行しホームページ=HPとも連動させ、市民に幅広く情報を届けました。とりわけ自主事業だけでなく貸館利用にも配慮した紙</p>
--	--	---

<p>術ファンの開拓と定着を図ります</p> <p>①情報誌の発行 市民ギャラリー独自に築いたネットワーク・事業・所蔵品といった市民ギャラリーならではのコンテンツを活用した情報誌を発行します</p> <p>②ホームページの広報 ・情報誌の内容をホームページでも閲覧・検索を可能にします ・運営面・管理面においてもホームページで情報公開 ・財団事務局、財団他施設とのネットワーク</p>	<p>①情報誌の発行 <input type="checkbox"/>3種類の情報誌を発行 「アートヨコハマ」 施設の自主事業と貸館事業を紹介・報告。 2回（10・2月）発行、各10,000部 「ヨコハマ・ギャラリー・マップ2014年度版」 市内美術施設の最新基本情報を網羅 1回（7月）発行、15,000部 「横浜画廊散歩」：12回（毎月） 市内美術施設の展覧会情報 5月号～9月号4,500部/月、10月号～5,000部/月 <input type="checkbox"/>広告料収入 3誌合計で300,000円</p> <p>②ホームページの広報 新ギャラリー開館に備え、前年度（H25）にリニューアルしたホームページのさらなる充実を図ります <b>■紙面と同じ情報を閲覧（PDF）できることに加え、ホームページならではの利点を活かしたスピーディーな情報入手・広範囲な検索を可能にし、美術ファンの期待に応えます</b> <b>■施設の基本情報・最新情報をくまなくホームページから入手できるよう頻度の高い更新ときめ細かな編集</b> <input type="checkbox"/>更新頻度：毎週1回 <input type="checkbox"/>アクセス数：ページビュー年間300,000アクセス以上 <b>■「ヨコハマ・アートナビ」「ヨコハマ・コドモ・アートナビ」へのアクセスを容易にし、財団施設及び財団</b></p>	<p>面づくり・HPコンテンツを心掛け利用団体からも好評を得ました</p> <p>① 情報誌の発行 施設案内「アートヨコハマ」の再刊 <input type="checkbox"/>10・2月に各10,000部 <input type="checkbox"/>市内中心に1,100箇所以上配布 市内美術施設の基本情報を網羅 「ヨコハマ・ギャラリー・マップ2014年度版」 <input type="checkbox"/>1回=7月発行、15,000部 <input type="checkbox"/>市内中心に1,100箇所以上配布 毎月の市内施設の展覧会案内「横浜画廊散歩」 <input type="checkbox"/>毎月25日12回、各4,000～5,000部 ※5～7月4,000部、8,9,1月4,500部、10～12月5,000部 <input type="checkbox"/>市内225箇所配布 <input type="checkbox"/>3誌の広告料収入370,000円</p> <p>② ホームページの広報 事業がスタートし自主・貸館ともに内容を充実させ更新頻度を多くしアクセス数が飛躍的に伸びました <b>■情報誌との連動</b> ・可読性の高いPDF版でも情報提供 ・あいまい検索を可能に ・情報を都度更新し最新案内を提供</p> <p><b>■施設の基本情報</b> ・空室況を都度更新 ・文字情報に加え展示風景も紹介し利用団体の発表・広報活動を支援 <input type="checkbox"/>更新頻度：平均10～11回/月 <input type="checkbox"/>アクセス数：2月までの11か月で<u>1,990,302ビュー</u> (参考：H25年度308,981ビュー) <b>■H26年4月より、財団HPとオープンデータ化し、双方で情報の収集提供を開始しました。その結果、市民</b></p>
--	---	---

	<p>事業の紹介に繋げ、広がりと双方向性を持ったホームページを目指します</p>	<p>ギャラリーが公共美術施設の情報収集は行う必要がなくなり、また市民ギャラリーに情報を寄せてくれる画廊等民間施設は財団HP内YAF統合検索からも探せるようになりました</p>
--	--	--

(2) 運営について

ア 創造活動の発表の場の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>①11月からスタートする貸館に向け、4月から抽選により利用を決定していきます</p> <p>②施設お披露目を兼ねて開館記念展を開催し(20日間)、その後貸館をスタートします</p> <p>③条例に定める上限料金に準じた利用料金を徴収します</p> <p>④利用率</p>	<p>①公開抽選会の実施</p> <p>展示室： 全展示室利用、1～5室利用にわけて抽選。<u>全室利用</u>は利用の前々年度3月に12か月分をまとめて、<u>1～5室利用</u>は毎月1年後の当該月の利用を、それぞれ抽選で決定します。抽選後空き室がある場合は、空き室の随時受け付けで決定します。ただし今年度は調整年のため適宜調整します</p> <p>■H26年度 11～3月の全室利用 公開抽選日：4/8 H26年度 11～3月の1～5室利用 公開抽選日：4/21 H27年度の全室利用 公開抽選日：4/8 H27年度4月の1～5室利用 公開抽選：4/30 ※H27年度5月～は原則として毎月10日が抽選日</p>	<p>① 公開抽選会の実施</p> <p>展示室： 全展示室利用、1～5室利用に分けて抽選。4～9月までは財団事務局会議室、10月から市民ギャラリーで公開抽選会を実施しました</p> <p>■ H26年度 11～3月の全室利用 抽選日：4/8 抽選参加団体：3 決定団体：3 H26年度 11～3月の1～5室 抽選日：4/21 抽選参加団体：38 決定団体：35 H27年度の全室利用 抽選日：4/8 抽選参加団体：14 決定団体：12 H27年度4月の1～5室 抽選日：4/30 抽選参加団体：5 決定団体：5 これ以降 (H27年度5月～) は原則として毎月10日に公開抽選会を実施し、空室申込みは15日から受付を開始しました</p>

アトリエ室：

3 か月ごとに 3 か月分まとめて抽選。抽選後空き室がある場合は、空き室の随時受け付けで決定します

■H26 年度 11～12 月の利用 公開抽選日：7/10

H26 年度 1～3 月の利用 公開抽選日：10 月中

②開館について

10/10 開館、開館記念展を開催（～10/29）  
展覧会入場者 5,000 人、関連事業参加者 500 人

10/30～11/3 撤去片付けおよび貸館準備

11/4 貸館（展示室・アトリエ）開始

開館日数	157日
営業時間	10時～18時

③ □利用料金について

展示室	面積 (㎡)	利用料金 ¥/日	
		入場 無料	入場 有料
地下1階	170	5,000	10,000
1階	184	5,500	11,000
2階	全面	396	11,500
	A	225	6,500
	B	171	5,000
	3階	全面	396
	A	225	6,500
	B	171	5,000
全室	1,146	33,500	67,000

アトリエ	面積 (㎡)	区分利用 料金 10:00～13:30	一日
------	-----------	---------------------------	----

アトリエ室：

3 か月ごと抽選月の3か月先から 3 か月分まとめて抽選し 15 日から空室申込みを受け付けました

■平成 26 年度の 3 回の抽選（H26 年 11～12 月利用、H27 年 1～3 月利用、H27 年 4～6 月利用）はいずれも抽選参加者がなく、空室の申込みで利用が決まりました

空室利用 7 団体、20 コマ

② 開館について

10/10 開館、開館記念展を開催 10/10～29、  
展覧会入場者 4,004 人、  
関連事業参加者 560 人

10/28 より、11/4 から開始の貸館準備

開館日数：157 日

営業時間：10～18 時

③ □利用料金

展示室、アトリエともに業務計画通りに利用料金を設定し、利用事前に施設利用料を徴収しました。また付帯設備は利用が確定してから請求し利用期間中に現金でお支払いただく仕組みをつくりました

駐車場も業務計画通りに駐車場料金を設定し事前予約制とし、利用退出時に現金で料金徴収する仕組みにしました

		14:00~17:30	
平日	148.6	6,500	12,000
土日祝		7,500	14,500

  

駐車場	30分100円
-----	---------

④□利用率  
展示室：90%    アトリエ：30%

④ □利用率  
展示室 93%  
アトリエ 39%

イ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>① 適材な人材の配置を実施します</p> <p>② 適切かつ効果的な業務体制を確立します</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① □人材の配置について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>4~8月</th> <th>9月~</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>施設管理</td> <td></td> <td>4人</td> <td>嘱託・派遣</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td></td> <td>2人</td> <td>週4日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td></td> <td>2人</td> <td>展示・撤去時</td> </tr> </tbody> </table> <p>② ■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制。主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応します</p> <p>公休者除く、基本配置数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室スタッフ 常時4名以上</li> <li>・設備スタッフ</li> </ul> <p>警備・清掃・電気等設備業務は安全性と効率性に鑑み業務内容・適切な配置数を検討し、入札を経て決定します。なお、警備員は常駐ではなく運営時間以外は機械警備に切り替えます</p>	項目	4~8月	9月~	備考	館長	0人	1人	固有	副館長	1人	1人	固有	事務	1人	1人	固有	学芸・事業	2人	3人	固有	施設管理		4人	嘱託・派遣	常勤アルバイト		2人	週4日	短期アルバイト		2人	展示・撤去時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>① □人材の配置</p> <p>職員配置は業務計画通り。短期アルバイトの配置は見送りました</p> <p>② ■勤務体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業や貸館内容に応じて調整し柔軟に対応しました</li> <li>・実際の運営に即しスタッフを配置しました</li> </ul> <p>事務室スタッフ： 原則常時6名体制としました（地下1階~4階までの5フロアの開閉室作業・巡回点検の実施、事務室に最低2名を配置）</p> <p>設備スタッフ： 指名業者入札により決定し入念なシミュレーションにより適切な配置・委託をしました</p> <p>常時4名（設備1、清掃1、</p>
項目	4~8月	9月~	備考																															
館長	0人	1人	固有																															
副館長	1人	1人	固有																															
事務	1人	1人	固有																															
学芸・事業	2人	3人	固有																															
施設管理		4人	嘱託・派遣																															
常勤アルバイト		2人	週4日																															
短期アルバイト		2人	展示・撤去時																															

		<p>警備 2)</p> <p>開・閉館 1 名</p> <p>機械警備：</p> <p>指名業者入札により決定し、機械警備と火報に対する警備業務を委託しました。19 時～翌 9 時までを機械警備対応</p>
--	--	--

(3) 管理について

ア 施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>新ギャラリーの引越前に、施設運営に必要な業務を洗い出し、業務内容によって委託業務と自主管理業務とに仕分けします</p> <p>委託業務は入札等により適切な業者を選出します</p> <p>新ギャラリー引越後は、安全に配慮し着実な施設運営を行います</p>	<p>[達成目標]</p> <p>■ ・施設管理業務の目出し、経費算出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者の決定：綿密な試算と仕様書の作成により適正な方法により決定します。仕様に基づき業務を委託し、定期的な打合せ・情報共有により安定した施設運営を行います</li> <li>・自主管理業務：開館前に入念な検討により自主点検マニュアルを作成し、開館後も確認と業務見直しを繰り返し行いマニュアルの完成度を高めます。一方で、職員間の情報共有を徹底し、安全と効率性に配慮し適正な施設運営を心掛けます</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者の決定：横浜市、財団本部とも調整し、必要な業務を目出しし、業者選定・競争見積により各種設備保守の委託業者を決定し業務にあたりました</li> <li>・自主管理業務：開館前に自主点検マニュアルを作成し、開館後も実態に合わせ業務見直し・マニュアル更新をしていきました。毎日 1 回以上の設備職員との打合せ、毎週 1 回以上施設担当職員間の打合せを実施し、意見交換・情報共有を徹底し、安全と効率性に配慮した運営を心掛けました</li> </ul>
---	---	---

イ 環境維持管理業務

<p>[取組内容]</p> <p>① 収蔵庫</p>	<p>[達成目標]</p> <p>① 収蔵庫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員が、庫内環境および所蔵作品の概観について毎日目視点検を行います</li> <li>なお「開館記念展」に展示した約 150 点は展覧会終了後、収蔵庫に収蔵します。それ以外は年度末に仮収蔵庫から一斉に移転します</li> <li>・庫内環境については、必要な保守点</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>① 収蔵庫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品クリーニング作業に伴い、学芸員が仮収蔵庫の庫内環境および収蔵作品の外観について概ね週 3 日目視点検を行いました</li> <li>・「開館記念展」に展示した約 150 点は同展終了後仮収蔵庫に戻し管理しました</li> <li>・収蔵庫は庫内環境を週に 1 度確</li> </ul>
----------------------------	---	---

<p>②その他</p>	<p>検を実施し温度湿度の計測に基づき、良好に保つよう配慮します</p> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員による毎日・全館を巡回し点検します</li> <li>・利用者に事前説明を徹底し、破損・汚損等を未然に防ぎます</li> <li>・日々発生するゴミは市の分別ルールに沿って適切に分別し、地域の回収ルートに則って廃棄します</li> <li>・産業廃棄物は、専門業者に委託して適切に廃棄します</li> </ul>	<p>認し、横浜市監修のもと適正に管理しています</p> <p>② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日定時に6回、全館巡回点検</li> <li>・利用者との利用1か月前の打合せを徹底しました。それでも破損2件、紛失4件ありました。</li> <li>・日常ゴミは競争見積によって決定した業者に週3回収を委託し適正に処理しています</li> <li>・産業廃棄は、新ギャラリー移転時9/12および年度末3/27に専門業者に委託し実施しました。あわせて産廃の什器・備品類は物品管理簿での処理も行いました</li> </ul>
-------------	---	--

ウ 保安警備業務

<p>[取組内容] 保安警備</p>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日常点検：開・閉館および業務時間内に午前と午後に複数回、巡回点検</li> <li>■業務日誌：毎日の日常点検を必須項目とその他事項を記載し、記録を残します</li> <li>■警備会社との協力連携：機械警備の時間帯も含め24時間体制で委託する警備会社と日常的に情報の交換・共有を行います</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日常点検：開・閉館および午前1回・午後3回巡回点検。全6回</li> <li>■業務日誌：毎日開館から閉館まで、日常点検・必須項目・その他事項を記載し記録を残しました</li> <li>■警備会社との協力連携 19～翌9時までの機械警備会社の警備に切り替えています。19時施錠時に必ず施設警備員と機械警備会社とで電話確認。超勤する職員は退館時に機械警備会社に電話連絡し、施錠確認を徹底しました</li> </ul>
------------------------	---	--

エ 防災等

<p>[取組内容] 防災</p>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■防災管理： 自主防災訓練：2回（開館前と開館後に1回ずつ）</li> <li>■防災マニュアル 防災マニュアルを作成し、職員、設備職員、利用者（貸館利用団体、アト</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■防災管理： 自主消防訓練：1回、2/2</li> <li>■防災マニュアル 自主防災マニュアルを作成し、職員、設備職員はもちろん、利用</li> </ul>
----------------------	--	---

	リエ事業受講生)にも避難経路の確認、緊急時の対応を徹底します	者にも毎回避難経路の確認と緊急時の対応を徹底しました
--	--------------------------------	----------------------------

#### オ 緊急時の対応

[取組内容] 緊急時の対応	[達成目標] ■緊急連絡網の作成 ■横浜市および財団事務局と日常的な報告体制を整え、防災マニュアルを作成し、全施設スタッフに対応の徹底を図ります	[実施内容と達成状況] ■緊急連絡網の作成 日常と機械警備会社との連絡用の2種類 ■横浜市および財団事務局と日常的な報告体制を整え、防災マニュアルを作成し、全施設スタッフに対応の徹底を図りました
------------------	--	--

#### カ 光熱水費の削減努力

[取組内容] 光熱水費の削減努力	[達成目標] ■使用しない部屋の節電の徹底 ■利用者・来館者に対し、事前打合せやポスター掲示によって啓発し、節電(適正温度の維持等)・節水への理解と協力を求めています	[実施内容と達成状況] ■各部屋の状況で節電を徹底 ■利用者や来館者に対しては、事前打合せやポスター掲示によって啓発し、節電節水への理解と協力を求めました
---------------------	---	---

#### キ 施設予防保全

[取組内容] 業務全般にわたって準備・整理整頓を徹底し日常に備える	[達成目標] データ管理・備品類を整理整頓し、緊急時に落ち着いて冷静な判断で対処できるよう日常的な準備を怠りません	[実施内容と達成状況] データ管理者、備品管理者を決め整理整頓を徹底し日常的に職員間で確認・更新を行いました
--------------------------------------	--	---

### (4) PDCA サイクルの確実な運用

#### ア 日報及び月報の作成と管理

[取組内容] 日報及び月報の作成と管理	[達成指標] ・日報、月報を作成し、管理します ・日常業務の中でPDCAサイクルを推進することで、短いサイクルでの早い対応・改善ができるよう努めます	[実施内容と達成状況] ・日報、月報を作成し管理しました ・日常業務、とりわけ貸館業務でPDCAを推進し、短いサイクルでの早い対応・改善に努めました
------------------------	--	--

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理

<p>[取組内容] 業務計画書および業務報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標] 定められた様式に沿って作成し、管理します</p>	<p>[実施内容と達成状況] 定められた様式に沿って作成し、横浜市および財団事務局へ報告しました</p>
---------------------------------------	--	--

ウー 1 業務評価(モニタリングの実施)

<p>[取組内容] モニタリングの実施による業務評価</p>	<p>[達成指標] 毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告・確認します</p>	<p>[実施内容と達成状況] 毎月のモニタリングにおいて、施設管理状況について報告・確認しました。他方で、緊急や重要案件についてはモニタリングを待たず速やかに報告・確認を行いました</p>
------------------------------------	---	--

ウー 2 業務評価(自己評価の実施)

<p>[取組内容] 自己評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標] 業務実績及び利用者の満足度や意見を元に自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努めます</p>	<p>[実施内容と達成状況] 業務実績および利用者・来場者のアンケートを通し自己評価を行い業務改善につとめました</p> <p><input type="checkbox"/>利用者アンケート 利用団体数 46、うち回答のあった団体 45 回収率 98%、満足度 4.5</p> <p><input type="checkbox"/>来場者アンケート 来場者総数 147,292 名 回収率 0.32%、満足度 3.4</p>
----------------------------------	---	---

ウー 3 業務評価(第三者による評価の実施)

<p>[取組内容] 第三者評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標] 外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市と協力し業務評価に即して対処します。改善が必要な業務は見直し変更を図り、評価を得た業務はより一層の充実・サービスに努めます</p>	<p>[実施内容と達成状況] 開館前の9月29日に外部評価委員会を実施し、開館後の運営を担う指定管理者として認定いただき横浜市と変更協定を締結しました。10月10日開館後は変更協定に基づき評価を踏まえ業務を遂行しました</p>
-----------------------------------	---	---

(5) 留意事項

ア 保険及び損害賠償の取り扱い

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
保険及び損害賠償の取り扱い	施設賠償責任保険による管理瑕疵及び施設管理対応（除く所蔵作品）、不定期臨時雇用保険（事業開催時の単発アルバイト）、横浜市ボランティア保険（市民ボランティア）を掛け、必要時に適切な対応を実施します	各業務にあった保険を適宜掛け、安定・安全な運営を心掛けしました

イ 法令の遵守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
法令の遵守と個人情報保護への取り組み	横浜市個人情報保護条例に基づき遵守し、利用者の個人情報の取り扱いには都度十分留意して的確かつ適正に処理します。施設独自の「個人情報適正管理のためのチェックリスト」を作成し、職員相互でのチェック体制を整え、無事故に努めます	法令の遵守と個人情報保護は研修を行い真摯に取り組みました

ウ 情報公開への積極的取り組み

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
市民ギャラリーの広報媒体を使って情報公開に努める	情報誌「アートヨコハマ」やホームページ等で公開し、積極的な情報公開に努めます	情報誌「アートヨコハマ」およびホームページを通し、積極的な情報公開を実施しました

エ 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
市及び関係機関等との連絡調整	毎月のモニタリングにおいて業務の報告・確認を行います。一方、重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を行います	毎月のモニタリングおよび、重要・緊急案件は随時横浜市・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を行いました

(6) その他について

ア アクセス改善

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>①送迎車サービス 横浜市の設置・運行趣旨に則り、適切な運営を実施します</p> <p>②案内看板等の設置</p>	<p>① 送迎車サービス 最寄駅である桜木町駅から施設までのアクセス改善のために行う事業。道路交通法および道路運送法にのっとり、適切な仕様により委託業者を決定し、無事故・無違反を心掛け市民へサービスを提供します</p> <p>■運行ルート：JR 桜木町駅～横浜市民ギャラリー</p> <p>■運行時間： 10:00～18:00(20～30分間隔で運行)</p> <p>■乗車定員：ワンボックス乗用車、車椅子仕様、9名程度(車椅子1台含む)</p> <p>②案内看板等の設置</p> <p>■最寄駅・主な順路・施設を含む周辺への案内看板の設置</p> <p>■ホームページや各種広報物へのわかりやすい経路及び公共交通機関を網羅する来館手段の掲示</p>	<p>① 送迎車サービス 指名業者入札により委託業者を決定し、開館日よりサービスを開始し利用者から好評を得ています。他方で周知が十分とは言えず周知宣伝を絶えず行っていく必要があります</p> <p>■運行ルート：JR 桜木町駅～横浜市民ギャラリー</p> <p>■運行時間：10:00～18:00の間、平日30分・休日20分間隔で運行</p> <p>■乗車定員：ワンボックス乗用車、車椅子使用、7名乗車可</p> <p>□運行実施日数155日</p> <p>□総利用者人数9,679名 往路3,280名、復路6,399名</p> <p>② 案内看板の設置</p> <p>■最寄駅主な順路の設置： 開館前： 野毛ちかみち、横浜市営地下鉄案内板に表示・掲出</p> <p>開館後： 3/17に市従会館との壁境に2か所、駐車場入り口に2方向から(紅葉坂と野毛坂からの来館者)に配慮した案内板を設置</p> <p>3/25に3か所(JR桜木町駅前、紅葉坂、野毛坂)に案内板を設置</p> <p>3/27に3か所(紅葉橋歩道、花咲町交差点歩道、野毛坂交差点歩道)に矢羽サインを設置</p> <p>■HPおよび広報物で経路案内を実施しました。経路案内デザインマップは最新情報を反映し3月に再作成し市民に公開しました</p>

イ 新規利用開拓と周辺施設・住民への配慮について

<p>[取組内容]</p> <p>従来からの利用者へのサービスとともに、新規利用者の開拓、周辺施設・住民にも配慮した運営を心掛けます</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■新規利用者の開拓 自治体や教育機関（大学、専門学校など）への広報を実施</p> <p>■周辺施設・住民との協調 将来的には周辺の文化施設や商業施設との連携を念頭に、認知され・関心をもたれるような広報を工夫します。また、周辺住民に配慮した運営を常に心掛け、地域に根差した施設を目指します</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■新規利用者の開拓 開館時の混乱・トラブルを避けるため新規利用者の積極的な開拓は見合わせました</p> <p>■周辺施設・住民との協調 町内会に入会し地域の一員としてその役目を果たすとともに、伊勢山皇大神宮、市従会館等と情報共有・調整を月1回行い周辺への配慮を常に心掛けました</p>
--	--	--

ウ その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な許認可及び届出等</li> <li>・施設の目的外使用</li> <li>・名札の着用</li> <li>・人権の尊重</li> <li>・書類の管理</li> <li>・行政機関が策定する基準等の遵守</li> <li>・法律の制定及び改正への対応</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性を優先し、申請書類等の簡素化と迅速な手続きのあり方を工夫します</li> <li>・美術振興の推進に貢献する目的外使用の範囲をその都度検討します</li> <li>・施設内での名札着用を遵守します</li> <li>・あらゆる差別を排除し、人権を尊重する管理運営を行います</li> <li>・横浜市の文書管理規定を遵守します</li> <li>・横浜市や神奈川県が策定する基準等を遵守します</li> <li>・法律の制定及び改正については市との協議の上、迅速に対応します</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性に配慮しつつ条例・規則・要綱に基づき申請手続きを実施しました。一方でいずれの団体も市民ギャラリーを初めて利用するため、利用説明・事前打合せを入念に行い展覧会の成功へと導くよう心掛けました</li> <li>・あらゆる差別を排除し、人権を尊重する管理運営を行いました</li> <li>・横浜市の文書管理規定を遵守しました</li> <li>・横浜市や神奈川県が策定する基準法を遵守しました</li> <li>・条例、条例規則改正に準じ、利用要綱を改訂し、駐車場管理要綱を策定しました</li> </ul>
---	---	--

## 5 収支決算額について

### (1) 収支について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>4～8月と9月～の2期に分け予算と人配を組み効率的な予算執行をはかります</p>	<p>■旧ギャラリーでの経験や実績及び同規模の他施設からのデータを参考に綿密な積算により経費を算出し、適正運営に努めます。他方で情報誌の広告料や助成金・協賛金の獲得など幅広い収入源の確保に努めます</p> <p>□利用料金収入：5,500,000円 展示室&amp;アトリエの貸館利用料および附帯設備使用料</p> <p>□その他収入 3,500,000円 情報誌広告料 300,000円 事業助成金 1,835,000円 事業協賛金 165,000円 駐車場利用料収入 1,150,000円</p> <p>※稼働率60%を見込む</p> <p>自動販売機手数料収入 50,000円</p>	<p>■予算計上・執行を確実に実行し適正運営に努めました。他方で広告料や助成金など幅広い収入源の確保に努めました。アトリエと駐車場の利用が目標に届かず収入が予算額を下回りました。利用促進の工夫が必要だと考えています</p> <p>□利用料金収入： 4,947,910円</p> <p>□その他収入：3,426,014円 情報誌広告料収入 370,000円 事業助成金 2,100,000円 事業協賛金 300,000円 駐車場利用料収入 413,900円 雑収入 241,704円 (自動販売機手数料収入、コピー機賃借料収入等)</p>

## (2) 収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	116,933,000	116,933,000	0	
利用料金収入	5,500,000	4,947,910	▲552,090	アトリエ利用料見込より減
事業収入	260,000	270,000	10,000	
その他収入	3,500,000	3,426,014	▲73,986	駐車場利用料減、協賛金・広告料増
合計	126,193,000	125,576,924	▲616,076	

支出					
人件費	54,880,000	52,658,617	▲2,221,383		
管理費	45,100,000	40,485,217	▲4,614,783		
内訳	光熱水費	9,600,000	7,476,973	▲2,123,027	開館前見込みより減
	保守点検費	23,000,000	23,863,164	863,164	開館前見込みより増
	アクセス改善	12,500,000	9,145,080	▲3,354,920	開館前見込みより減
事業費	10,500,000	8,471,091	▲2,028,909		
事務費	15,713,000	17,407,063	1,694,063	開館備品購入による増	
合計	126,193,000	119,021,988	▲7,171,012		

収支計	0	6,554,936		
-----	---	-----------	--	--

【別紙】自主事業一覧

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1	10月 10/10-29	主催	開館記念展「内覧会 および収蔵作品展」 および記念事業	全館	新ギャラリーのお披露目を かねて、横浜市民ギャラ リーの 50 年の歴史と軌跡を 所蔵品を中心に紹介	4,560	6,977,887
2	1-3月	主催	ハマキッズ・アートク ラブ	アトリエ	子どもの創造力を育み集 中力や協調性を養う目的 で行うワークショップ	58	606,369
3	1-3月	主催	大人の造形講座	アトリエ	大人の実技造形講座 クロッキー等基本を学ぶ	112	305,838
4	12-3月	主催	教養講座「ハマゼミ」	アトリエ	アートシーンの動きや市民 ニーズ等に配慮した 16 歳 以上対象の大人向け教養 講座。2 時間程のレクチャ ー	84	122,426
5	4-3月	主催	コレクション管理	仮収蔵 庫 & 新 ギャラ リー収蔵 庫	全所蔵作品のクリーニング を終え、年度末には収蔵庫 に移設し、名実ともに館の 収蔵品になることを目指す		
6	4-3月	主催	情報誌発行事業 「アートヨコハマ」 「ギャラリーマップ」 「横浜画廊散歩」		目的に沿った情報誌を3種 類発行し、施設ファン・美術 ファンを開拓する		1,919,264
7	4-3月	主催	ホームページ運営		紙面情報誌による広報とリ ンクさせ、より迅速に、広範 囲・掘り下げた内容で、発 信・情報提供を実施		